

# みね教室だより 令和5年10月号

1学期もあと少しで終わり、2学期が始まります。  
 学期の変わり目で、少しお疲れ気味のお子さんもいるかもしれません。無理のないよう見守りながら、引き続き支援していきたいと思えます。



## 10月の予定

	日	月	火	水	木	金	土	
	10/1	2	3	4	5	6	7	
教室1		面談週間 指導なし	—————→					
教室2								
	8	9	10	11	12	13	14	
教室1		スポーツの日	学期間休業	学期間休業	1日なし	学校行事 1日なし		
教室2								
	15	16	17	18	19	20	21	
教室1		出張 1日なし	出張 1日なし					
教室2		出張 ⑥⑦なし						
	22	23	24	25	26	27	28	
教室1			運動会準備 午後なし	峰小運動会 1日なし	峰小運動会 予備日 (25日雨天時 1日なし)			
教室2								
	29	30	31	11/1	2	3	4	
教室1								
教室2					出張 1日なし			

◎毎週決まった曜日、時間帯に指導を行います。欠席の際はご連絡ください。  
 また、峰小の行事や出張等で指導が休みになる場合がありますので、ご確認ください。



**みね教室直通 634—2236**  
**峰小 職員室 633—3973**

教室直通の電話は、在室する限り担当が  
 出ますのでご心配なくおかけください。  
 ただ、指導中は出られないこともあります  
 のでご了承ください。

# 「お手伝い」

今月は、お手伝いの大切さについてお伝えさせていただきます。

お手伝いの目標は、自分から進んでお手伝いができる、自分のことは自分でやる習慣が付く、家族の中で自分の役割分担が分かること、などです。



また、お手伝いをする一番大きな理由は、自分が他の人の役に立つ経験をさせるためです。

就労で最低限必要なことに、自己有用感(自分が他の人の役に立てるという実感)と自己耐用感(やるべきことは最後までやり遂げること)があげられますが、お手伝いは、自己有用感を育むことにつながります。

自己有用感があると、子どもたちは自分の大切さを知り、それが自尊感情を育てることになります。

お手伝いの例としては、小学生では、お風呂掃除、洗濯物を干す、食器洗いなどから始めてみるというようです。

お子さんによってさまざまなお手伝いをしていることと思いますが、まだなかなか…というお子さんも、できることから少しずつ挑戦できるといいですね。

参考:福島医大ふくしま子ども・女性支援センターの横山 博之先生のコラム

## 保護者面談 お世話になります

保護者の方との二者面談を10月2日(月)から6日(金)に予定しております。

日時については、後日、個別にご相談させていただきます。

なお、この期間は、指導はお休みとなります。

どうぞよろしくお願いいたします。

## お知らせ

かぜやインフルエンザが流行しています。

うがいや手洗いはまめに行い、予防していきましょう。

お子さんだけでなく、ご家族で体調のすぐれない方がいらっしゃる時は、無理をせずゆっくりとお休みしてください。

また、**在籍学級が休業の場合は**、お子さんが元気でも**通級もお休み**していただきますようお願いいたします。

